

メダリストのシューズ作りの裏には 三村氏

アシックスのグランドマイスター三村仁司氏が「金メダルシューズをつくる」と題して講演しました。

三村氏は、オリンピック女子マラソンの高橋尚子、野口みずき、有森裕子の各選手、プロ野球のイチロー、新庄剛選手らのシューズ作りを長年手がけてきたことを紹介しました。この中で高橋選手は、左右で脚の長さや足の骨格が違ったため、本人が違和感を抱かない程度に微妙に左右のバランスを調整したシューズを作り、それを履いてシンドニー五輪で優勝したエピソードを披露し、「故障を防ぎ、好記録

を出すには左右の違いに配慮したシューズを履くことが大切である」と強調しました。



イチローのシューズを手に開発コンセプトを説明する三村氏。4号館講堂

メダルなき勝利者たち

経営情報学部公開講座（9月8日）

五輪出場経験から得た5つの条件は 古講師

金沢学院大学経営情報学部の古章子講師が「私とオリンピック



真の勝利者に必要な条件を話す古講師。4号館講堂

ク」をテーマに話しました。幼いころから競技を続けてきたトランポリンで五輪に出場し、目標の入賞（六位）を果たしたことなどの経験で得た五つの勝利者となる条件を挙げました。古講師は五つの条件として、目標を達成したいという強い意志、ライバルを上回る努力、勝利につながる正しい指導方法、支えてくれた人たちへの感謝の気持ち、競技を楽しむ気持ち、を挙げ、「自分自身に打ち勝って目標を達成し、『真の勝利者』になってほしい」と述べました。

第4回情報デザインシンポジウム（9月6日・7日、本学講堂）

放送業界の歴史と展望

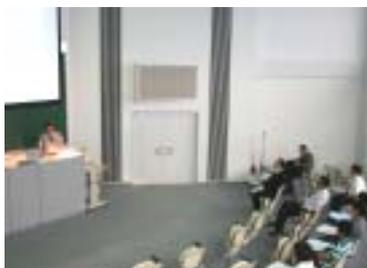
デジタルコンテンツの潮流



生涯テレビ漬け 元テレビ朝日プロデューサー・本学非常勤講師赤根谷幸一氏
長く放送業界に身を置いて

分かったのは、人の上に立つのに必要なことは、「人金力」でなく、全てを見抜く力、「判断・決断・実行」です。最近ではコンテンツ需要を満たすために作品の質が落ち、中身について批判を招くことがあります。番組の良し悪しは視聴者が判断しますが、制作側には、良い企画・質のいい番組を制作できるプロデューサー、演出家が欠かせません。

フルデジタル技術の映画制作とCGの役割 メディアフォラム代表河内隆幸氏
映画の制作工程でデジタル化が進んでおり、今後はデジタルデータによるHD映像が主流となり、HDに関する放送技術も進んでおり、両者は互換性を持つでしょう。映画の編集におけるデジタル化は急速に進んでいますが、多額の投資を必要とするデジタル上映館の不足で、編集された映像はフィルムに戻して一般の上映館へ配給されています。実写映像との



日本の伝統文化と新技術の融合 美術文化学部・高田伸彦教授
金沢では、加賀藩の文化奨励政策の流れをくみ、加賀友禅、金箔、

九谷焼、漆器などの工芸美術が根付き、豊かな伝統文化が継承されています。コンピュータの発達には画像や音声における新たな表現を可能にし、新たな新しい芸術的表現が伝統文化と新技術の融合によって、新たな感性の境地を切り開くことを可能にしています。



何にでも積極的に参加したい、石川さんは「いろいろなものを身に付けたい」と抱負を述べました。

発行・広報室



秋田県で行われた第四十五回全国教職員相撲

山上さん教職員相撲優勝
金沢学院東高校教職員の山上慈明さん「写真」は八月二十日、秋田県で行われた第四十五回全国教職員相撲選手権で初優勝しました。山上さんは1回戦から準決勝までの六戦を多彩な技で勝ち進み、決勝では昨年の実業団横綱である強豪の小笠原史男さん（青森）を突き落とて下しました。また、教務部職員の水野加那さんは九月三日に行われた第五十回石川県団別剣道選手権の女子三段以上の部で優勝しました。

カナダ留学2学生が挨拶

金沢学院大学文学部国際文化学科二年の福島千尋さん（写真右）と石川泉さん（写真左）は、十月から半年間、カナダ・カモーション大学へ留学するのを前に九月十三日、石田寛人学長に出發の挨拶をしました。福島さんは「不安もあるが、